

GENSOUKYO 幻想郷フタナリチンポレスリング
FUTANARI CHINPO WRESTLING
YUKARI VS MARISA *Ecstasy 4*



18
ADULT ONLY

GENSOUKYO 幻想郷フタナリチンポレスリング

FUTANARI CHINPO WRESTLING

YUKARI VS MARISA

Ecstasy4

が…ダメツ!! 魔理沙選手
 いったあゝっ♡
 頭を仰げ反らせながら
 舌を出し思い切りチンポ
 アクメを貪っています♡

あらあら♡
 そんな乳首ピン勃ち
 させちゃって…♡

文字通り手が出ません!!
 ゴシゴシと搾るように
 高く高く精液を撃ち出させ
 られています♡

チンポ敗ける♡
 手コキと舐め揉みで
 気持ちよくされて
 敗ける♡♡♡♡

んおおおー♡♡
 腰♡勝手に♡♡
 入る♡♡♡♡

敗け手コキ♡
 無様射精魅せ♡けながら
 イ♡♡♡♡♡♡♡♡

18
 ADULT ONLY

幻想郷フタナリチンポレスリングとは!!

幻想郷のフタナリ少女達がプライドを賭け互いのチンポをイかせあう真剣勝負である!

クッククック……何だ?
フタナリチンポレスリングの
ルールなら下を見る

私の精液……?
人間なんかは
一滴たりともやるものか♡

フタナリチンポレスリング・ルール

- 一、相手のチンポを射精させて、10カウント以上チンポを萎えさせれば勝ち!
- 一、勃起を維持できれば何度射精させられてもOK!
- 一、但し相手の精液を膣奥に射精(なかだし)されてしまうと即KO負け!
- 一、チンポ以外への攻撃も許可されているが、過度な暴力行為(リョナ)はNG!
- 一、能力や魔法も使用OK! 更に予め用意した道具を持ち込んで使用することもできる!
- 一、ルールを守って正々堂々、対戦相手をいっぱい気持ちよくしよう!

全幻想郷のフタナリ
チンポレスリング
ファンの皆様!!

大変おまたせ
致しました!

第四回GFCWが
いよいよ始まります!

会場である人間の里
特設リングは超満員!!
辺りはかつてない熱気に
包まれています!

それもそのハズ
本日の試合は
超注目カード!

幻想郷中が
注目する一戦と
なっております!

実況は毎度おなじみ
清く正しい射命丸と

姫海棠で
お送りします

うう...私まで緊張
してきちゃった...!

あやや
漏らさないで
くださいよ?

漏らさ
ないわよ!!

さあいよいよ
選手入場です!

みなさんどうぞ
大きな声援で
お迎え下さい!!

アアア

まずは
赤コーナー!!

ご存知我らが
チャンピオン!

無敗伝説はどこまで
続くのか!?

フタナリチンポレスリングの
リビンゲレジェンド
霧雨魔理沙選手だー!

紫なんてコテンパンに
やっつけてやるぜ♡

おまえら私の活躍を
しっかり観てろよっ♡

リングにあがる
なんて珍しいな
どういう風の
吹き回した?

なににせよ
手加減は
しないぜ紫!



対する
青コーナー!!

遂にこの人がリングへ
やってきてくれた!

謎のヴェールに包まれた
その実力や如何に!!

幻想郷の賢者
八雲紫選手だー!!

うふふ…
みんな応援
よろしくね♡

私も試合に興味が
出てきてね…♡

もちろん
手加減は無用よ
全力でかかって
らっしゃい魔理沙♡





審判はいつもどおり
四季映姫レフェリーです
今回も厳正なジャッジを
期待したいですね！

えいきつき
です♡
今日も
白黒ハッキリ
つけちゃう☆

キラッ☆



それで文：
今日の注目
ポイントは？



そうですね：
人間である魔理沙選手が
大妖怪である紫選手
相手にどう立ち回るのか…

また紫選手が
境界を操る程度の能力を
どのように使って
戦うのか…!!

一瞬も
目が離せない試合に
なりそうです！

何が
言ってるさ…
ちやうど…!!
かま…



あつそれと試合の詳しい
ルールがわからない方は
本誌4Pを御覧くださいね

メタア…



さあそして
いよいよ試合開始の
ゴングが…

鳴らされ
ましたッッ!!

ハマママ

行くぜ紫ッ!!

試合開始早々
魔理沙選手が
行ったーッ!!

ゴングと同時に
突っ掛けるっ!!

その余裕面を
すぐにアへ顔に
してやるっ!

魔理沙選手得意の
速攻だッ!!

なっ
!?

あッ!!

がし

っーかまえた♡

おおーっと!!
紫選手背後を
取ったあ!

うっ...!!

くそおっ
この...離せっ!!

なんだこの力...
全然振り
ほどけない...ッ

人間が腕力で
妖怪に敵うわけ
ないでしょ♡

いつの間に
後ろに...

どうやら掴まれる
直前にスキマを使って
魔理沙選手の後ろに
出現したようです!

あっ...ッ...
ちよっ...こらっ...

さあうまく
後ろを取った
紫選手

どこ
触って...っ

前から魔理沙の
おっぱい触って
みたかったのよお♡

魔理沙選手の
たわわな胸に
手をかけるゝ!!

ムンムン

もみもみ

IN



さあて乳首は
どこかなあ♡



あつ…んっ…♡
やめっ…ろおっ♡



んっ…?
ここかしら?

さっ…
さあなっ…



ハイ
ここ♡

じゅわん!
♡♡♡



アハハ
すつとほけても
バレバレよお♡

魔理沙選手
乳首を勃起させられて
しまったっ!!

ピッチリコスチュームに
勃起乳首がくつきりと
浮かび上がります♡



そんなに
急かさなくても
すぐに気持ちよく
してあげるわ♡



一生懸命
弱点アピール
しちゃって…♡
チンポと一緒に
主張の強い
乳首ねえ♡



もちろんチンポも
一緒にね♡

ズンズン
ズンズン



なっなんだこれっ…♡
全然激しくないのにつ…
ゆっくり
シコられてるだけ
なのにつ…♡

紫の手コキ…っ
指がねっとり
絡みついて…っ♡

こっ
こんなの…っ♡

ぜっ…ぜんぜ…
んおっ♡
きいてな…おっ♡

気持ちよすぎる
うう…っ♡
このままじゃ…
すぐにイッ♡

おっ♡
おっ♡



魔理沙選手
一瞬のスキを見逃さず
紫選手の拘束を
解きました!!



紫が何かに
気を取られた...?
チャンス...!!



あら...?
これは...?



なっ...
それは...?

私が帽子に隠してた...
なんで紫が持ってた...?



ん...
あれ...?

よくもやって
くれたな
お返しを
たっぷりと...



うっ...

こんなに沢山
道具を隠して...
使おうとしていた
なんて悪い子ねえ♡
オシオキして
あげないとね♡



探しものは...?
これかしら?



あつと魔理沙選手
凶器を奪われ
逆に使われてしまった!!

強く挟みすぎ♡♡
振動強い♡♡

んおおお♡おお♡♡

電マでチンポサント
らめえへええ♡♡



相手の道具を奪って
使っちゃいけないなんて
ルールはないのよ?

これ♡私♡の♡
返せえ♡♡



お♡お♡お♡
おほおほ♡♡



いっただあぁ!!

魔理沙選手
いっただあぁ!!

八卦炉から
チンポ突き出し♡

すかさず
レフェリーの
カウントが入る!

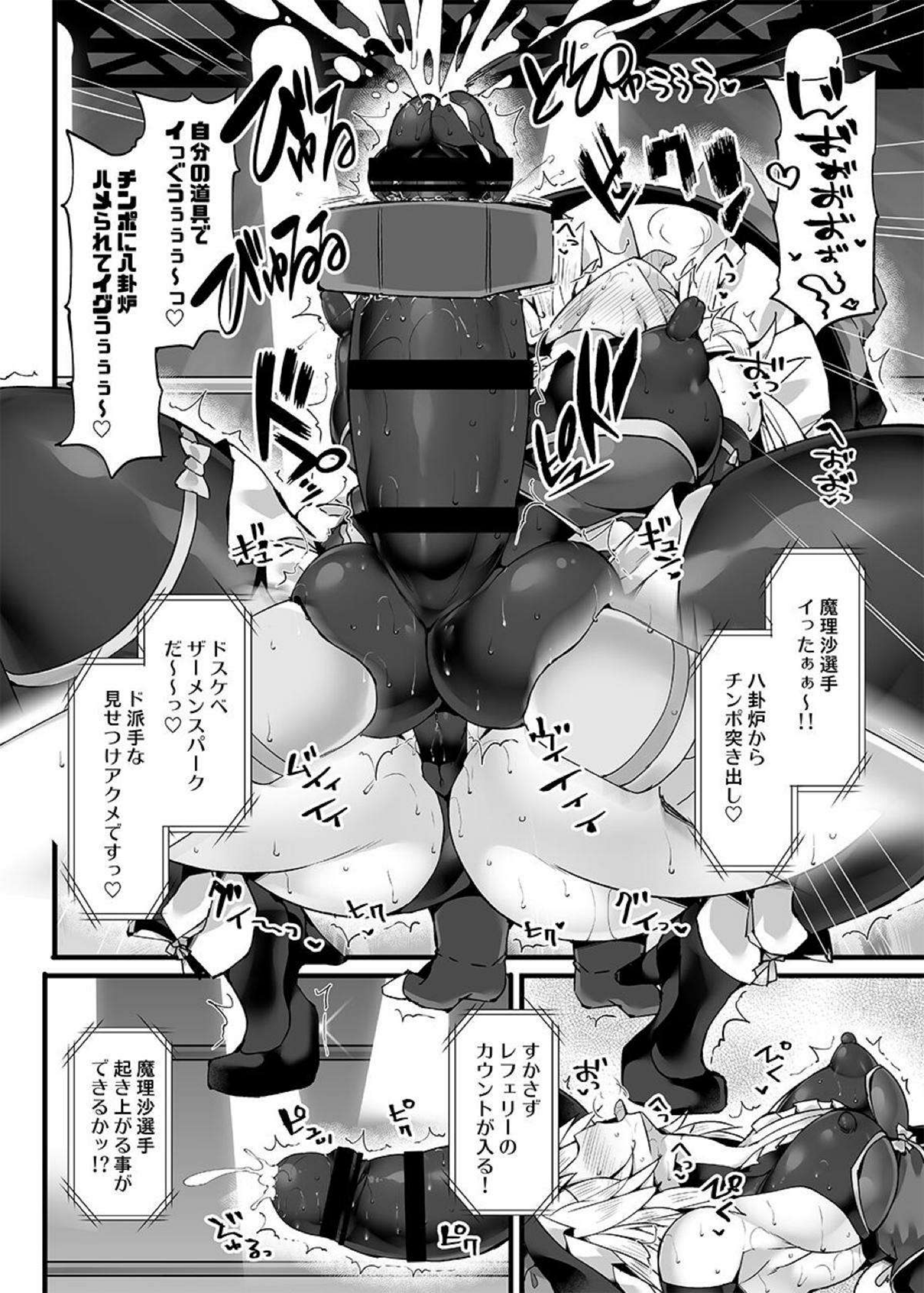
チンポに八卦炉
ルンルン♡

自分の道具で
イロイロ♡

ド派手な
見せつけアクメですっ♡

ドスケベ
ザーメンスパーク
だっ♡

魔理沙選手
起き上がる事が
できるかッ!?





それは...
次は...

そう
こなくつちや♡



はあ...はあ...
まだだ...っ

立ったー!! 勃ちましたッ!!
さすがはチャンピオン
勃起は衰えていません!



魔理沙選手のチンポが
移動しているっ!!



こういうのは
どう?

これは...!?



しばらく
おとなしく
してなさい♡

魔理沙選手の
手足がスキマに
拘束されて



かっ
返せっ...!!

おっと

突っ込んだチンポを
激しく突き動かします！

自分のチンポ
しゃぶらされて…ッ

魔理沙選手の唇が
ブザマに伸び縮み
しますっ♡

悔しすぎる
ううっ…♡

333



必死に鼻の穴
膨らませて…♡
素敵な顔ね♡

おっ♡おっ♡
おっ♡イクっ♡



んほおおお♡
喉奥っ♡深いイイツ♡



チンポから
ザーメン登って
きてるうううう♡

いっ



こんなの全然効いてないんだからなっ!!

このおつ拘束を解けっ

ごほっ
ごほっ...

ハホッ

ハホ



魔理沙選手
再びイッたあゝ!!

あゝあゝあゝ

ハッ
ハッ
ハッ

屈辱の強制セルフ
ひよっとこフェラ
アクメで

上ではザーメン
下ではマン汁を
ぴゅっぴゅと噴いて
しまっているぞ!!



あら...まだ
そんな強がりか
言えるなんて...



チンポもまだ
元気そうだし

そうね...



魔理沙選手を
呑み込んだ!!



おおっと!
紫選手が呼び出した
スキマが...



ハッ

リング上から忽然と
姿を消してしまった
魔理沙選手！

どよ
ざわ

どよ

ざわ

一体どこへ行って
しまったので
しょうか!?

チンポだけ残して
あとはスキマ空間に
封印しちゃった♡

静かになって
とっても可愛く
なったわね♡

なんと魔理沙選手が
チンポにされて
しまったー!!

八卦炉からチンポ
だけを出し
チンポ八卦炉
状態だー!!

びびる

びびる

びびる

貴方にできるのは
チンポからザーメン
吐き出すだけ…♡

マリチンポ
たっぷり可愛がって
あげるわ…♡

さあフタナリ
アクメ処刑の
始まりよ♡

美しく残酷に
このリングで
イけ♡





それじゃあ
そろそろ元に...

あっ...

アッ...



どうろ?そろそろ
元に戻りたい?
うん♡うん♡って
チンポ頷いちやって
かわいいわねえ♡

ココ

ぶん



ナデナデ
してあげるわ♡

ココ

ぶん



あはは意地悪して
ごめんなさいね♡

チャンピオンの
自覚あるの??



あっ!! また...
叩かれてイクなんて...
しっかりしなさい

ぶん

ぶん



なに余韻で
ちよつと射精
してるのっ!?

許可なくイクなんて
悪いオチンポねえ

コラー!

!!

まったく…お仕置き
なのにイクなんて…



とんでもない
マゾチンポね
そんなんじゃ一生
このままチンポの
まますり?



イヤイヤ♡って
チンポ振っても
ダメよ



罰を与えないとね♡

全力でシコってチンポ
ピカピカになるまで
磨いてあげる♡



ほらほらほらほら♡
イケ♡イケ♡



いってもいっても
シコりまくって
あげるっ♡



これで何度目の
射撃でしょうか!?

一方的な試合が
続いております!

ここでようやく
魔理沙選手が
リングに帰還!

しかし流石の
魔理沙選手もこれには
堪らずダウンだ!!

再びカウントが
入ります!

このまま決まって
しまうのか!!?

まだよ♡
ほらしゃんと
しなさい

なんと紫選手
ムリヤリ
勃たせた!!

ムン、ムン、





ちやあんと
トドメ♡
挿してあげる♡

そして狙いを
定めて――



紫選手
魔理沙選手に
挿入だっつ!!



中だしKO
狙いかっつ!!

魔理沙選手
突かれながら
イっつています♡

さらに体位を
変更!!

最後はお客さんに
チンポが見えるように
イカせてあげないとね♡

チャンピオンを
徹底的に
辱めるつもりだー!!

ほらもっと敗けチン
見せつけなさい♡

結合部とチンポを
見せつけるように
していますっ!!

ふうっ♡私も
そろそろツ
イクわよ♡

もうとっくに
敗けてんのよっ♡
観念しろっ♡

らめえ敗けるっ♡
いま射精されたら
負けちゃろっ♡

んおおお♡奥♡
清されるっ♡
イビビっ♡♡

イビビビビビビビビビビ

ンオオオオオオオ

負けっ♡
負けええええ♡

出る出る出る出る
どりゅどりゅどりゅ

もっぴもっぴもっぴもっぴ
イキすぎて手ごぽ
おかしくなりゅん♡

いったああッ!!
魔理沙選手
今日イチの
ド派手発射だッ!!

そして同時に紫選手の
ザーメンが子宮を
直撃!!

ミミミミミミミミミミ

カッカッカッカッカッ

キャッキャッキャッ

キャッキャッキャッ♡
なにされても悦ぶ
弱媚びマンキャッ♡
されるンンン♡

キョウキョウキョウ

脚ピンアクメで
つま先まで
食欲に快楽を
味わいますっ♡

そして
魔理沙選手
ダウ〜ン!!

ここでゴングが
鳴った〜!!

魔理沙選手
中だしKOだーッ!!

無敗のチャンピオンが
遂にリングに沈むッ!!

顔からマットに
突っ伏し中だし
敗北アクメですッ!!

紫選手
余裕の表情!!

歴戦の強者である
霧雨魔理沙選手を
まるで子供扱い!

完膚なきまでに
イカせ尽くしました!

ウフフ…挑戦
いつでも待ってるわ

圧倒的な強さを
見せた紫選手!
この試合展開を誰が
予想できたでしょうか!

それではみなさん
次の試合でまた
お会いしましょう!!

あとがき 兼 注意書き

いつもご覧の皆様お久しぶりです！初めてご覧になれる方ははじめまして！
秋の風物詩、幻想郷フタナリチポレスリング、Exも今回で第4巻になります。

いつも通りといえばいつもの内容ですが、
今回なんと無敗のチャンピオン魔理沙が遂に敗北を喫してしまいます…！
そして圧倒的な強さでチャンピオンを負かした紫ですが、
アナザーでも徹底して責め役です！

紫様のブザマ敗北射精シーンがないやん！という方は大変申し訳ありませんが
魔理沙ならいつか必ずトレーニングを積んで紫にリベンジマッチを挑むと
思いますので、紫様のアヘ顔、射精姿は今しばらくお預けとなります。
2～3冊後でのカタルシス開放までぜひ楽しみにお待ち下さい。

今シリーズを描くにあたって、毎回したことのないプレイ。やったことのない
シチュエーションを盛り込みたい。という思いがあるのですが、
本編の方では、物言えぬ状態で一方的に快楽を与えられるしかない
クリボックスならぬチンポボックスが描けて大変満足でした。
これに関しては見開き4ページも描いてますが、
あそこから更に追加でブラシや電マなどを使って徹底的にチンポを屈服させて
もう4ページくらい見開きで描いていたかったですw

そしてもう一点…今回のアナザーストーリーなのですが、ご注意下さい。

「乳首がチンポになるアレ」が登場します…！！

実は私自身、最初見たときはちょっと苦手よりジャンルだったのですが、ある日
ピッチリスーツに包まれた乳首チンポを見て「おや…？なんかエッチかも…？」
と自分でも一度描いて試してみたくなったのです…！
恐らく今回が最初で最後になると思いますが、
結果としては着衣越しの表現なら結構すきかも…！という印象でした。

上記の内容が苦手、地雷な方は、このあとに4Pの間、素敵なゲスト原稿が
掲載されていますので、ぜひそちらを見た後に本を閉じて下さいね。
大丈夫な方、もしくは興味のある方は…私と一緒に新しい性癖の扉に
手をかけてみましょう…！

同ジャンルにしてはマイルド寄りの描写にしたつもりですので、
ぜひ味見して頂けたら幸いです。
今回のアナザー執筆は一大決心の大冒険で今でもビクビクしていますが、
もし気に入って頂けたらTwitter、Email
なんでも大丈夫ですのでご感想など頂けたら大変嬉しいです。
それでは、この先に進まれる方も、そうでない方も、
ぜひまた次の本でお会いしましょう。

2021年11月 Stapsats 翡翠石

催眠モードON



招待ありがとうございます♥
特別なマッチらしいけど
魔理沙さんのちんぽ
の敵じゃないぜ♥

フツ♥特別な試合に
私を呼ぶなんて解ってる
じゃない♥精々私の華麗
な技に見惚れる事♥

魔理沙選手！レミリア選手！
特別会員専用観覧マッチに
お越し頂きありがとうございます
ます♥観客の皆様もお二人を
お待ちしております…♥

おまぬけなお二人にはこの催眠
カメラを使って観客100人と
フタチン耐久72時間勝負をし
て慰安サンドバックになっても
らいますの壊れないで下さいね

はぜ…？
はぜ…？
はぜ…？

12時間後…



特別マッチ
○種付けおじさん100人VS魔理沙&レミリアタッグ○

魔理沙選手はすでに
200回以上の射精！
邪魔なクソ雑魚チンポは
スパッツに挟まれ穴を
精液便所にされています♥

もう無理い♥チンポも
マンコもおっぱいも全部
絶頂しすぎて壊れちゃう♥
負けましたあ♥助けてス♥

おーつと魔理沙選手レミリア
選手♥たつたの5人で完全敗北
してからひたすらの絶頂地獄♥
さすがまの無様アクメです♥

レミリア選手は生意気な
態度を取った罰として不様に
膨乳♥ちんぽと睾丸とデカ乳
をめちゃくちゃにされすっか
り幼児退行して降参です♥

ぶぐぐ♡ ぶぐぐ♡
フズン~~~~♡
あっあっ~~~~♡
イッ~~~~♡

おつとこれは魔理沙選手！
ガマンも虚しく射精くっ♡
ザーメンを高く打ち上げて
豪快アクメだーっ♡

千んぽヌニロキオれてイクミ♡
オキッぽも♡ キンタマもあ♡
ツブツブでらじりじりイジメられて
ザーメンでらじりじりイジメられて

ズン♡

ニヤニヤ♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡

ニヤ♡

ズン♡

ズン♡

ニヤ♡

ニヤ♡

ズン♡

めほほ♡

ニヤニヤ♡

ニヤニヤ♡

まけにやにっ♡
しやくしやなんかに千んぽまけて
たまりやにっ♡

あははw 啖阿切りながら
どつちがザコか分からせ射精
させられちゃってますよw

この状況で虚勢を張れるなんて
さすがはチャンピオン(笑)
頑張つて逆転してくださいね♡

描いた人：灯籠
即堕ち敗北集で、下等妖怪に敗北して実況に嘲笑される魔理沙ちゃん可愛かったの！

この幻想郷にて多くの人々を熱狂させ、性欲の発散を促し、妖怪達からも注目を置いている競技が存在する。

その競技の名は「フタナリチンボレスリング」

多くの幻想少女達が己のフタナリチンボを扱き合い、時には喘ぎ、時には無様な姿を晒す。

勝った者には栄光が、負けた者にはアクメ顔と共に恥ずかしい姿を見せてしまうと同時に幻想郷中のオカズとして使われる身に堕ちる…

今幻想郷内で最も熱いスポーツだ。

そして今回も幻想少女達が熱く滾ったチンボをぶつけ合い、激しく精液を撒き散らす…!

「さあ、今回も開催されました幻想郷フタナリレスリング！ 一体どんな試合内容が展開されるのか楽しみます！ 実際は射名丸文でお送りしますっ！」

いつもの実況の掛け声と共に盛り上りを見せる会場、その熱気の後押しされる様にリング上に見える二つの影の棒状の様な物がピクピクと伸びる様に応えてみせた。

この歓喜溢れる場所所て相手の情けない姿にする、その意気込みは双方同じだった。

「リングに居る二人も既にオチンポ全開、ヤル気満々の様ですわね！ それでは紹介しましょう！ 霧雨魔理沙選手！」

そして八雲紫選手！」

「みんなー！ 今日も元気にしてるかーっ！ 私のテクニクで紫の乳首総勃起、オホ顔アクメ姿を見せてやるぜー！」

赤コーナーに居る魔理沙はいつもの様に元気で自信満々の姿を見せつける。

そのピッチリとした衣装に包まれた身体からは浮かび上がる乳首や垂れ下がる玉袋の形がはっきりと分かり、ライトに照らされて光沢の輝きが眩しい反り立ったチンボを観客に見せつける様にしながら試合内容を語ってみせた。

そんな魔理沙に対してもう一本の肉棒を持つ人物は不敵に笑ってこう返す。

「ふふっ♥ 幻想郷の賢者としての実力、見せてあげるわ♥ 魔理沙のオチンポを屈服させて、一生アへ顔が固定しちゃう様な試合にしてあげる♥」

青コーナーに居るのは幻想郷を作った存在、八雲紫。

紫を基調とした衣装から目立つ挟んでくれと言いたくなるハートマークを象った谷間に左右の面積からは素肌が見え、少しでも動けばそのぶっくりと膨れた乳輪が見えてしまおうであろう前提的な作り。

そして前掛けから見えるフタナリチンボは魔理沙の物よりも巨大、ぶら下がる玉袋は鞠の様に丸々としていて、男性の腕よりも長く長い肉棒は賢者の名に相応しい。

この圧倒的強者感、会場のボルテージは上がり、観客達の肉棒も声援と共にそそり立っていた。

「紫！ 今回が初参加だからって手加減はしないぜ！ 寧ろこの競技の洗礼を浴びて、フタナリスキマ妖怪として幻想郷中にその名を轟かせてやる！」

「あらあらっ♥ 貴方も二度と人前に立てなくなりそうな姿にしてあげる♥ そして霧雨フタナリ魔理沙として設置して、ザーメンミルクタンクとして永遠に搾り取られちゃうのよっ♥」

試合前にも関わらず火花を散らす両者、互いに生えた自慢のフタナリチンボをベシベシとぶつけ合い、まるでチャンバラでもする様なけん制を見せあう。

経験では魔理沙の方にアドバンテージがある、それを紫が意外性で抵抗できるかという下馬評と言った所だ。

「両者激しくオチンポでウォーミングアップ、既に勃起済みで準備万端の様ですね！ それでは始めましょう！ フタナリチンボレスリング、開始です！」

その掛け声と共にゴングが鳴り響き、試合が開始された…!

「それじゃあさっそくイってもらおうかっ！」

先制したのは魔理沙だった、ゴングが鳴ったと同時に紫へと片手を突き出した状態で突撃する。

その手に握られていたのはミニ八卦炉、彼女お得意のマスタースパークを回避させ、その隙を狙おうという算段だ。しかし、幻想郷の賢者はそう甘く無かった。

「ふふっ♥ これは弾幕戦じゃないのよ♥ 回避を誘った所で私のオチンポを握ろうって根端がみえみえね…! そんな貴方には少しお仕置きをしてあげないとね…?」

魔理沙の手の内を把握していたかのように余裕を笑みを浮かべる紫、すると…

「ねえ魔理沙、【コレ】は何だと思おう？」

「え……んなっ?！」

紫の手に魔理沙は驚きを隠せなかった、何故なら紫の手先には今まさに自分が突き出しているはずの片手とミニ八卦炉が見えており、自分の方向に向いていたからだ。

紫の能力、隙間を操る程度の能力によって自らの手の位置を移動させられ、マスタースパークの輝きが自らを穿とうとしていた。

発射直前となり、魔理沙は咄嗟に回避行動を取るも、全ては紫の手の内だった。

「当然そうするわよねえ♥ けどその一瞬が命取りよ。はいっ♥ 拘束完了♥」

「なっ?! しまっ…!」

ミニ八卦炉に気を取られ過ぎて魔理沙は気が付かなかった、紫の罠に。

彼女の手足はいつの間にかスキマの中に入り身体が宙に浮く、それは攻撃手段と抵抗手段の消失を意味していた。四肢を失った彼女にあるのは天高くそそり立つ肉棒のみ、そのプリプリとしたフタナリチンボに紫は笑みを浮かべながら接近する。

「意外とあっけなかったわねえ♥ こんなにピクピクと勃起させちゃってえ♥ こうされたいんでしょ♥ はむっ♥」

「んひゃっ?!」

ズビツ♥ ズズズツ♥

紫が魔理沙のフタナリチンボに顔を近づけたかと思うと口を大きく開いてその肉棒を丸呑み、頬を大きく窄めたひよっこの顔になってフタナリチンボを弄り始めた。

口内の締め付けは最初から全力のパキュムフェラ、一度食い付いたら離さない様にカリ首に唇を引っ掛け、舌も器用に動かしては亀頭に刺激を与え、高揚感を高めていく。美味しそうな物にしゃぶり付く紫の口内は既に涎まみれ、頭が揺れ動く度に唇の間から透明な液体が滴り落ち、啜えられない玉袋にもヒヤヒヤとしたローションが降りかかる。

「うまっ♥ 魔理沙のフタナリチンボ美味いわっ♥ 先走り汁も喉を伝って来ていい感じ♥ もっと出しちゃいなさいよ♥」

ズビズビツ♥ じゅぶぶ♥

「あっあっオツ♥♥♥ ヤメツ♥ オチンポの吸うの止めづ♥ 気持ちいいづ♥ バキュムフェラだけでづ♥ こんな

なに気持ち良くなるなんてエエ♥♥♥

ピクンピクンッ♥

スキマの中で手足を必死に動かし痙攣を見せる魔理沙、しかしいくら暴れて藻掻いてもスキマから四肢が出る事はない。

そんな身体を揺れ動かす魔理沙を後目に、紫もテクニクも増していく。

『んっばほ♥♥♥ ぶっばほ♥♥♥』

ジュビジュビッ♥ ベロベロベロ♥♥♥ ズビビビィ♥

『んんっ♥♥♥ ただ舐めてるだけじゃ面白く無いわっ♥♥♥

こうやってコチョココチョコ♥』

クリッ♥♥♥ グニグニッ!

『ンホツへエエエ♥♥♥♥♥ ちっ乳首いじらにやいてエエエ♥♥♥♥♥ おっんほはおお♥♥♥ イグイグッ♥♥♥ 乳首ア

クメとバキュームアメクキメちやうウウウ♥♥♥♥♥ ウホオ

オオ♥♥♥♥♥』

紫はスキマを魔理沙の乳首へと手を回し、指先で親指サイズにまでぶつくりと膨らんだ突起物を器用に捏ね繰り回す。

摘まみやすくなった乳首は前後左右にグニグニと動かされ、魔理沙の身体に徹底的に快楽を叩き込んだ。

その気持ち良さは情けない声と顔が物語っており、後ろのモニターには舌を伸ばした無様な姿が映し出されていた。

『ズズズオ♥♥♥ あらあら、そんなに素敵なお顔を♥♥♥ 弄り倒してあげたくなっちゃう♥♥♥ コリコリっ♥♥♥ ついで

に亀頭もピカピカに磨いてあげるっ♥♥♥』

ズビズビッ♥♥♥ クリクリッ! ベロベロ♥

『あひい♥♥♥ ちくびい♥♥♥ イグイグイグッ♥♥♥ クリク

リされてっ♥♥♥ 絶対アクメするううう♥♥♥ それにオチンポ

っ♥♥♥ ズビズビ吸われて食べられちゃうっ♥♥♥ 濃厚ザー

メンブリュブリュ出ちゃうううう♥♥♥♥♥』

ピクンピクンッ!!

啜え込んだ肉棒の吸引と乳首への刺激、その同時攻撃で魔理沙は絶頂を迎える寸前まで来ていた。

しかし、その射精権利すらも紫の手の上にある。

『ぶはっ♥♥♥ 生を飲んでほしいけど観客のみんなにもサービ

を扱いてみんなの手で絶頂させちゃってねえ♥♥♥』

口から離れた肉棒から糸が引き、未だに痙攣と先端から吹き出す汁が止まらない。

そんな肉棒を紫はスキマによって大勢の観客達の真ん中へと移動、同じくそそり立った何百本という肉棒にオカズを提供した。

『んふえっ♥♥♥ あっあっ♥♥♥ こ、このタイミングでお預け

だなんてっ♥♥♥ イカせてっ♥♥♥ ザーメンミルクサーバー

にでも何にでもなるからああ♥♥♥♥♥ 早くザーメンビュビ

ュ出したいのおお♥♥♥♥♥』

無意識の内に敗北宣言を口にする魔理沙、既にバキュームフェラと乳首弄りによって体力は早くも限界に達していた。

だが、その言葉を待っていたとばかりに紫は笑う。

『その言葉を待ってましたあ♥♥♥ みんな、本人から許可が降りたわよ♥♥♥ 魔理沙をザーメンミルクサーバーにしましよ

うね♥♥♥』

本人に最高の射精をさせる為、紫の掛け声と同時に無数の手が魔理沙の無防備フタナリチンポに襲い掛かった。

『ウホオオオ♥♥♥♥♥ キンタマ揉み揉みされてりゅうう♥♥♥♥♥ 指先が食い込んで来てっ♥♥♥ ザーメン作られるううう♥♥♥♥♥

それにはチンポシコシコオオ♥♥♥ 気持ちいいっ♥♥♥ ザー

ーメン昇って来てるのが分かるのおおお♥♥♥♥♥ ぬほほ

おおお♥♥♥ イグイグウウウ♥♥♥♥♥ おっおっ♥♥♥ 舐められ

てるっ♥♥♥ いっぱいの舌にベロベロされてるのおおお♥♥♥♥♥

♥♥♥ 好き放題にしゃれてえ♥♥♥ ミルクサーバーに堕ちりゅ

うううう♥♥♥♥♥』

シコシコッ! グニグニッ♥

プシュプシュ♥♥♥ ピクンピクンッ♥

お触り自由となったフタナリチンポに群がる無数の手は様々な方向から亀頭を、腹部を、睾丸を扱き尽くす。

ある者は亀頭を舐め回したり舌を尿道にねじ込んだり、ある者は生殖器を擦り当てて大きさを図りながら快楽を送ったり、ある者は玉袋にパイプを押し当て継続的な振動を流して精液を作る手助けをしたり…。

文字通りのミルクサーバーとして弄り倒された。

宙に浮いた本体の股からは大量の潮が吹き荒れ、観客目掛けて飛ばすというパフォーマンスも披露するなど飽きさ

せない。

そんな観客達に輪姦される姿を見ながら、紫は最後の仕上げを行う。

『そろそろイキたいようね♥♥♥ 最後は私に突かれながらザー

メンをビュビュ飛ばしちゃういなさい♥♥♥』

ズブズブッ! ばんばんばん♥♥♥

『ひぎひぎひぎ♥♥♥♥♥ オッオッオッ♥♥♥ 無理無理無理

いいいい♥♥♥ 負けるづ♥♥♥ チンポ扱かれてマンコ突かれながらミルクサーバーになるうううう♥♥♥♥♥』

どぶぶっ! びゅるるるっ!!

『ウホオオオオ♥♥♥♥♥ 出る出る出るううう♥♥♥♥♥ 真っ白

いザーメンがビュビュ♥♥♥ 見られちゃうっ♥♥♥♥♥ チンポミルクサーバーになるところをみんなに見られながらイグウウウ♥♥♥♥♥』

どぶどぶっ! プリュブリュ…びくくっ!

紫のフタナリチンポが魔理沙の膜内を突き上げた瞬間、まるでとろろんが押し出される様にフタナリチンポから真っ白な液体が噴水の様に吹き上がった。

天井に向かって吹き上がるそれは雄たけびと共に強さを増し、周囲に伸びる手と共に擦り合わせていた数々の肉棒に降りかかり、見事なコーティングを行った。

そして射精が止まると、宙で伸び切った魔理沙は舌を伸ばし、白目を向いていた。

『ンホオオオ♥♥♥♥♥ ホオオオオ♥♥♥♥♥ チ、チンポミルクサーバーになるうううう♥♥♥♥♥ 毎日びゅーびゅー絞られて過ごすっ♥♥♥ うれひいいいい♥♥♥♥♥』

びくんびくん♥♥♥

『け、決着! 決着です! 魔理沙選手に一切の抵抗をさせずに紫選手、一方的な勝ちを収めました! これは伝説に残る戦いとなるでしょうっ!』

『ふふっ♥♥♥ まだチンポからザーメン吹かして可愛いっ♥♥♥ それじゃあ宣伝通り、ザーメンミルクサーバーになってもらうわね♥♥♥』

こうして圧勝を見せつけた紫と完敗を見せつけられてしまった魔理沙。

それから彼女はチンポミルクサーバーとして【設置】され、日々フタナリチンポからザーメンミルクを提供する存在へと堕ちたのであった…。

GENSOUKYOU

FUTANARI

CHINPO

WRESTLING IF... ANOTHER STORY

魔理沙選手
乳首を勃起させられて
しまったく!!

ピッタリコスチュームに
勃起乳首がくつきりと
浮かび上がります♡

あらあら...
こんなにピンピンに
ポツキさせて...♡

乳首がまるで
チンポじゃない♡

いいこと
考えたわ

そのエロ乳首
本当のチンポに
してあげる♡

なっ...!!

ああーっつと!
紫選手が
何かを仕掛けます

ズキョウウウウ

なっなんと

ッ!?

魔理沙選手の乳首が
チンポそのものに
変えられて
しまいました!!

どう?
乳首とチンポの境界を
なくしてあげたわ♡



あせっ

びん

あらどうして?
とっても素敵よ♡

超敏感なドスケベ
変態乳首チンポに
しといてあげたから♡

魔理沙の乳首チンポ
どっちが強いのか
勝負させましょ♡

なっ
なんだこれっ

おいっ
もとに戻せ!



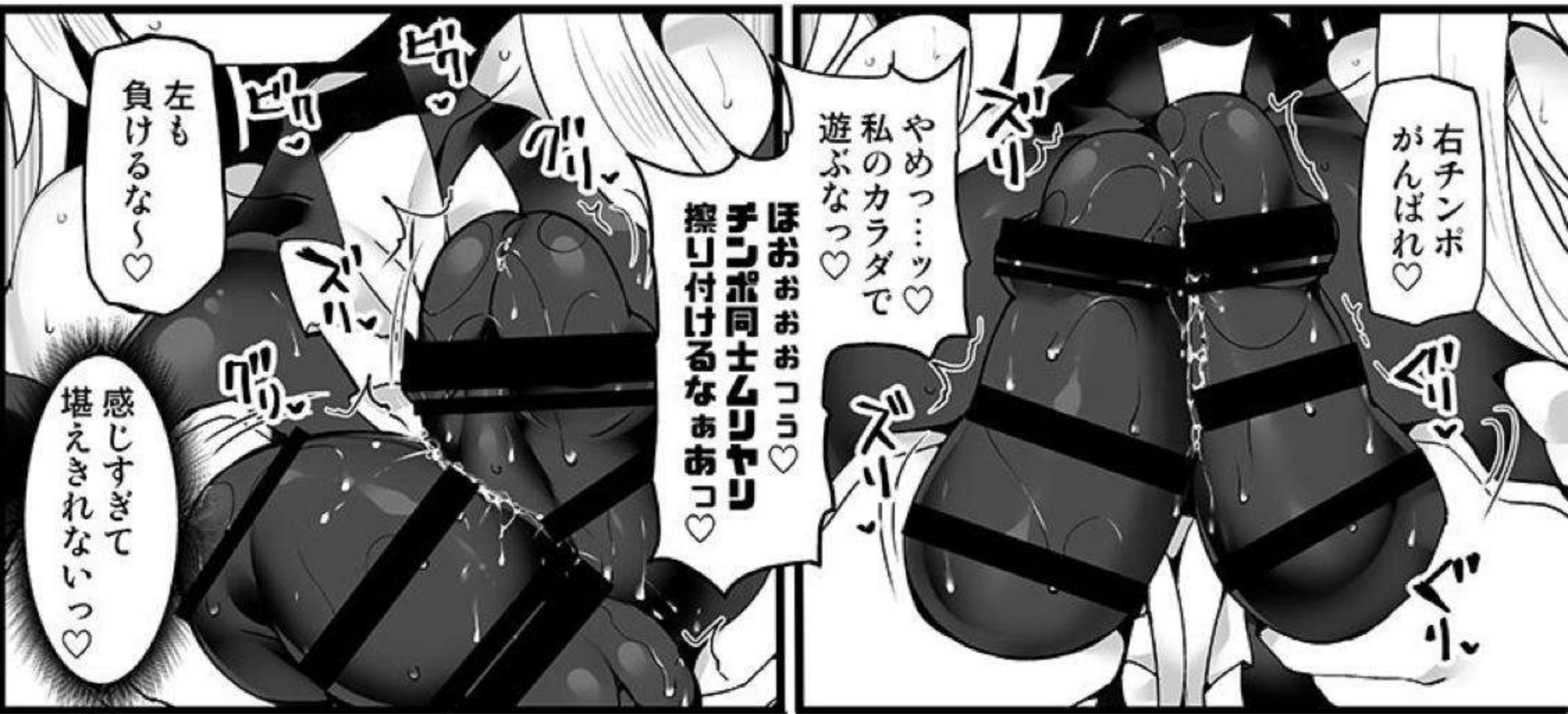


んおおっ♡
このっ…離せえっ♡

んおおおっ♡
なんだこれえっ♡

このチンポ感度
スゴいいいっ♡

乳首なのにチンポと
おんなじ快樂くるっ♡



右チンポ
がんばれ♡

やめっ…ッ♡
私のカラダで
遊ぶなっ♡

ほおおおおっ♡
チンポ同士ムリヤリ
擦り付けるなあ♡

左も
負けるなっ♡

感じすぎて
堪えきれないっ♡



ハイ右っ♡
左っ♡

チンポ
ステイック
イツチニ♡

イツチニっ♡

んおおおお♡
イロ♡イロ♡

左チンポ射精
するっ♡

んおおおおお♡
やっぱり
右手チンポもイビビ♡

両手チンポ射精
する♡

魔理沙選手
いったあゝ!?

はいおめでとく
チクビチンポ
引き分けてゝす♡

どっちのチンポも
頑張ったわね♡

えーそれでは…
両チンポの健闘を
讃えまして

乳首で
射精する♡♡

股間のチンポを
ビッコンビッコン
揺らせながら

両乳首から
ザーメン大噴射
だーっ♡

コホン

ここからは
めちやくちやに
イカせまくりたいと
思います♡

交互に射精できて
エライわね♡

はい右っ♡

右イロっ♡

はい左っ♡

左イロっ♡

んおおおおお
♡
♡
♡
これ以上はあ
♡

お♡お♡お♡
♡
♡
おほおほおほ♡

お照お照お照
お一お一お一
お二お二お二♡

お三お三お三♡
お四お四お四♡
お五お五お五♡
お六お六お六♡
お七お七お七♡
お八お八お八♡
お九お九お九♡
お十お十お十♡

んのほおおおこおおお♡
キたあああああ♡
いこくううううううう♡

りょろほろい♡
全部イグロコロコロ♡
チンポせんぶ♡
射精するコロコロ♡

乳首チンポも
ふたなりチンポも
ザーマンニル
噴きまくるコロコロ♡

魔理沙選手また
いったあゝ!!

全チンポから観客席に
向かって激しく精子を
吐き出しています♡

そして同時に
試合終了のゴングが
鳴り響くゝ!!

チャンピオン
完膚無きまでにイカされ
尽くし敗れましたッ!!



奥付

発行サークル：Stapspats

執筆：翡翠石(ヒスイ)

誌名：幻想郷フタナリチポレスリングEcstasy4

紫VS魔理沙

発行日：2021/11/28

印刷所：ねこのしっぽ

PixivID：1473639

TwitterID：hisui_spats

E-mail：hisuispats@gmail.com

※18歳未満の方の購入/閲覧を禁止します。

無断転載/複製複写/Webへのアップロードを禁止します。



ああーつと魔理沙選手
神出鬼没の紫選手に
翻弄され遂に捕まって
しまったー!!

スキマ能力を使って
チンポを高々と
「持ち上げられて」
いるぞー!!

自分のチンポをシコられる
様子を視線の高さで
見せつけられています!

辱める上に観客にも
見えやすく二石二鳥!!

さすが八雲紫CEO
選手としてリングにあがっても
ファンサービスが
イキ届いていますね♡

魔理沙選手
果たしてこの拘束から
逃れることは出来るので
しょうかー!!?

こんな近くで試合が
観られるなんてー!!

おおっ
ナマ八雲紫だー!!!